

第4回ディスポーザ研究集会

直投式ディスポーザを普及させるためには何が必要か ～普及を進める上での課題や対応策を考える～

NP021 世紀水倶楽部ディスポーザ分科会では、下水道をディスポーザで粉砕した生ごみの輸送手段としての可能性の検討、汚水処理施設に及ぼす影響、ディスポーザを用いた資源循環型社会の形成に向けた提案等を2年前から研究集会や出前講演会等を実施し、皆様方に興味を持って頂くもののディスポーザの普及促進には至っておりません。

ディスポーザにより粉砕した生ごみを直接下水に投入することにより、汚水処理施設における汚濁負荷は増加しますが、その負荷増量分を吸収できる施設も少なくありません。一方、汚泥のエンタルピーが上がることから消化槽では消化ガス発生量が増え、エネルギー回収を増やすことができます。

また、ごみ焼却施設においては、含水率80%程度の生ごみが持込む水分が減り、発電効率がアップできるとともに、CO2排出量の削減や施設の延命化が期待できます。

今回、もう一度原点に帰って直投式ディスポーザを普及させるための課題、ディスポーザを導入した場合の汚濁負荷量の増加の程度等をテーマに研究集会をしたいと思います。

1. 日 時 : 平成22年5月18日 火曜日 13:30-17:30
2. 場 所 : (財)下水道新技術推進機構 8会議室 東京都新宿区水道町3-1
3. 定 員 : 60名 (申し込み先着順)
4. プログラム :

13:30-13:40	ディスポーザー分科会挨拶 21世紀水倶楽部 監事 奥井英夫氏
13:40-14:10	直投式ディスポーザーの普及の現状 日本エマツ株式会社 InSinkErator 事業部 事業部長 今西章夫氏
14:10-14:50	伊勢崎市でのディスポーザー普及の現状 伊勢崎市 環境部 環境保全課 課長 浅見頼好氏
15:00-15:40	ディスポーザー排水負荷量の実態調査結果と排水処理に及ぼす影響 群馬工業高等専門学校 環境都市工学科 教授 青井 透氏
15:40-16:20	総合的観点からのディスポーザー普及に向けての課題と対策 財団法人日本環境整備教育センター 教育事業グループ リーダー 岡城孝雄氏
16:20-16:50	ディスポーザーの規格化等について 日本下水道協会 技術部 規格・検査課 課長 友部秀久氏

17:00-17:30 全体討議 司会：栗原 秀人 (21世紀水倶楽部理事)

17:30-18:30 講師を囲む意見交換

5. 資料代等 : 地方公共団体職員等無料、非会員2,000円
6. 懇親会 : 研修会終了後、講師を囲む意見交換会を予定しています。
会費は1,000円です。
7. 申込み方法 : 21世紀水倶楽部のHPの申込みフォームよりお申込みください。
21世紀水倶楽部HP <http://www.21water.jp/21index.htm>

(問合せ先) E-mail: sympo-info@21water.jp または ☎03-3980-4567 (開催当日も)

8. 締切 : 平成22年5月10日 (月)

*締切日前に定員に達した場合は、その時点で締切らせて頂きます。